

平成18年度東海三県一市グリーン購入キャンペーン実施報告

1 実施概要

(1) 目的

グリーン購入の普及と定着を図るため、東海三県一市の広域連携で、行政と事業者が協働して消費者に対する啓発キャンペーンを実施し、身近な消費行動を通して持続的発展が可能な社会経済システムの構築を目指す。

(2) 日程

平成19年1月14日（日）～平成19年2月14日（水）

(3) 実施内容

○ 販売店での取り組み

参加販売店において、「詰め替え商品」、「環境ラベル商品」、「地産地消・季産季消」等の環境配慮型商品を扱うグリーン購入キャンペーンコーナーを設置したり、啓発ポスター、POP、店内放送等でグリーン購入の環境負荷低減効果をアピールすることにより、グリーン購入の意義を消費者に伝えた。

また、店舗による独自の取り組みを推奨した。

○ 環境ラベル商品の普及

はがきに購入したエコマーク商品名を記載し、アンケートにお答えいただいた方に、抽選で1,000名様に図書券をプレゼントした。

○ 地球にやさしい買い物探検隊

名古屋市内の販売店(イオン千種ショッピングセンター)において、市民参加による「地球にやさしい買い物探検隊」を行い、エコマップを作成して店内に掲示する等により、地球にやさしい買い物方法を普及した。

(4) 主催等

主催：東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会

(岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、日本チェーンストア協会中部支部で構成)

後援：環境省中部地方環境事務所

協賛：(財)日本環境協会エコマーク事務局、3R活動推進フォーラム、

(社)日本有機資源協会

花王販売(株)、牛乳石鹼共進社(株)、ユニリーバ・ジャパン(株)、ライオン(株)

コクヨ東海販売(株)、(株)サクラクレパス、ショウワノート(株)、住友スリーエム(株)

ゼブラ(株)、(株)トンボ鉛筆、プラス(株)ジョインテックスカンパニー

プラチナ万年筆(株)

協力：(株)あらた中部支社、中央物産(株)、(株)パルタック中部支社

(5) 参加企業 東海三県内2777店舗 (三県外81店舗)

業態	企業名	岐阜県	愛知県	三重県	名古屋 (内数)	合計	三県 外
チェーン ストア	イオン(株)中部カンパニー	4	19	15	7	38	32
	イズミヤ(株)	1				1	
	(株)イトーヨーカ堂	2	8		1	10	
	(株)西友		11		4	11	
	(株)ダイエー		6		6	6	
	(株)バロー	51	27	2	15	80	
	マックスバリュ中部(株)	1	8	52	6	61	3
	(株)松坂屋ストア		8		6	8	
	(株)ヤマナカ	1	62	4	27	67	
	(株)ユーストア	6	43	8	10	57	16
	ユニー(株)	14	53	8	14	75	8
	(株)義津屋	2	18	1	2	21	
	百貨店	(株)ジェイアール東海高島屋		1		1	1
(株)松坂屋			4		2	4	
(株)丸栄			2		1	2	
(株)三越			2		2	2	
(株)名鉄百貨店			2		1	2	
コンビニ	(株)サークルKサンクス	257	1033	228	323	1518	
ドラッグ ストア	(株)ジップドラッグ	9	84	40	14	133	8
	(株)スギ薬局	35	214	40	54	289	1
	(株)スギヤマ薬品	6	69	7	24	82	
	中部薬品(株)	52	50	1	19	103	13
ホームセ ンター	(株)カーマ	19	56	7	11	82	
	コーナン商事(株)		2		2	2	
	(株)三交クリエイティブ・ライフ(東急ハンズ)		1		1	1	
	(株)バロー(ホームセンターバロー)	26	7		2	33	
スーパー マーケッ ト	(株)アオキスーパー		41		12	41	
	(株)ぎゅーとら			19		19	
	(株)シジシーショップ東海		2			2	
	生活協同組合コープみえ			3		3	
	(株)パレ	1	14		6	15	
文具店	(株)栗田商会		7		1	7	
	(株)篠田商会		1		1	1	
合計	33社	487	1855	435	575	2777	81

(6) 啓発物品一覧

B3ポスター（グリーン購入啓発用）



B3ポスター（懸賞応募用）



POP（懸賞応募用）

W182×H64



POP（詰め替え商品啓発用）

W210×H148



スイングPOP

レジ袋削減啓発用 W90×H55



地産地消・季産季消啓発用 W90×H55



懸賞応募用 W90×H55



のぼり W400×H1200



懸賞応募用紙 (表) W148×H300



懸賞応募用紙 (裏) W148×H300



記載内容は、28 ページ参照

2 実施店舗の取組状況

(1) 店舗におけるキャンペーンコーナー等の実施状況





(2) 参加企業の広報状況

お知らせ

無料配送

エコマーク商品を買って図書カードを当てよう!!

抽選で合計1,000名様にプレゼント!

2007年1月14日(日)～2月14日(水)まで

図書カード1,000円分 100名様

図書カード500円分 900名様

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

198円

298円

300円

今日のお惣菜

グリーン購入

エコマーク商品を買って図書カードを当てよう!!

抽選で合計1,000名様にプレゼント!

2007年1月14日(日)～2月14日(水)まで

図書カード1,000円分 100名様

図書カード500円分 900名様

500円

98円

地球にまら、だね。

グリーン購入

エコマーク商品を買って図書カードを当てよう!!

抽選で合計1,000名様にプレゼント!

2007年1月14日(日)～2月14日(水)まで

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

売出し期間 1/24(水)～29(日)

地球にまら、だね。

グリーン購入

～環境にやさしいお買い物～

リサイクル商品

環境にやさしい商品

エコマーク商品

図書カード1,000円分

図書カード500円分

2007年1月24日(水)～29日(日)まで

地球にまら、だね。

グリーン購入

エコマーク商品を買って図書カードを当てよう!!

抽選で合計1,000名様にプレゼント!

2007年1月14日(日)～2月14日(水)まで

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

FRESH&

val

2月3日

地球にまら、だね。

グリーン購入

エコマーク商品を買って図書カードを当てよう!!

抽選で合計1,000名様にプレゼント!

2007年1月24日(水)～29日(日)まで

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

2日間限りの特別企画

売出し期間 1/25(水)～29(日)

地球にまら、だね。

グリーン購入

エコマーク商品を買って図書カードを当てよう!!

抽選で合計1,000名様にプレゼント!

2007年1月25日(水)～29日(日)まで

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

東海三県一市

グリーン購入キャンペーン

エコマーク商品を買って図書カードを当てよう!!

抽選で合計1,000名様にプレゼント!

キャンペーン 2007年2月14日(水)まで

図書カード1,000円分 100名様

図書カード500円分 900名様

78円

(3) 各社でのキャンペーン独自の取り組み

○ ユニー

バイオマス容器商品購入による懸賞応募

- ・ユニー商品券2,000円分 40名
- ・ユニーオリジナルマイバッグ 200名

独自キャンペーンの実施状況



郵便はがき

4
5
0
8
7
9
9

お手数ですが
50円切手を
お貼り下さい

名古屋中央郵便局駅前分室留
アビタ・ユニー・ラフーズコア
「バイオマス容器商品を買って
ユニー商品券を当てよう!!」係

APITA ユニー LaSalle Com

●ご住所 〒

●お名前 フリガナ

●お買い上げ店舗 アビタ・ユニー・ラフーズコア 店

●お買い上げ商品

バイオマス容器商品を買って ユニー商品券を 当てよう!!

※応募ハガキがなくなり次第終了とさせていただきます。

必着期間 2007年1月14日(日)~2月14日(水)

A賞

ユニー商品券 2,000円分 **40名様**

B賞

ユニーオリジナル
マイバック **200名様**

トウモロコシから生まれた地球にやさしい
「バイオマスプラスチック」

特徴1	特徴2	特徴3
石油に代表される化石燃料の助約になる	二酸化炭素を増やさない	微生物の力で水と二酸化炭素に分解
トウモロコシのような植物を原料とするため、燃やしても、もともとあった二酸化炭素が自然に還ることで、気候変動に貢献することができます。	バイオマスプラスチックを燃やしても、もともとあった二酸化炭素が自然に還ることで、地球上の二酸化炭素の増加を抑えることができます。	生ゴミと一緒に捨てても土の中の微生物によって水と二酸化炭素に分解され、資源物になります。

※期間中、アビタ・ユニーにてお買い上げのきさら(10個入)・カットフルーツに付いているバイオマスマークシールを1口とし、店内設置の専用ハガキに貼付して必要事項をご記入の上、郵送にてご応募ください。

※本人情報は、集約の場、委託先や個人を特定しない目的でのみ利用し、お客様の個人情報は第三者に提供することはありません。(※今年中に1口のお品を複数お買い上げいただいた場合は、お買い上げの口数に応じて複数枚のハガキをお付けいたします。なお、お品物の仕様・販売状況等で複数ハガキをお付けできない場合がございます。当選は無条件とさせていただきます。)

※公正な抽選の上、当選者を決定し、3月上旬当選者への賞品の発送をもって発当にかえさせていただきます。

対象商品 ※店舗により一部を除いた商品もあります。

バイオマスマークシールの付いている全商品

このマークが目印です

この紙は再生素を使用しています。

環境にやさしい バイオマス容器

バイオマス容器は、従来の石油などで作られるプラスチックと異なり、植物を原料としたプラスチックです。

ユニーが導入したバイオプラスチックはトウモロコシを原料とし、水と二酸化炭素に自然に分解します。

ユニーはこうした環境負担の少ない材料でつくった容器包装を使用し、地球環境を考えた取り組みを行っています。

自然からつくりだされ、自然にかえるバイオマスプラスチック

1 石油に代表される化石燃料の助約になる

トウモロコシのような植物生まれの原料を使うことで、限りある化石燃料が節約できます。

2 二酸化炭素を増やさない

バイオマスプラスチックを燃やしても、もともと存在していた二酸化炭素が自然に還るだけで、地球上の二酸化炭素の増加にはなりません。

3 微生物の力で水と二酸化炭素に分解

生ゴミと一緒に捨てても土の中の微生物によって水と二酸化炭素に分解され、資源物になります。

バイオマスシール
貼付欄

シールをゼロハンテープ等ではがれないようにしっかりと貼ってください。

ユニーは皆様と一緒に「環境にやさしい」を考えます
恐れ入りますがアンケートにご協力ください

※該当項目に○印をお付けください

質問1 植物を原料として作られるバイオマス容器を知っていましたか?
A.知っていた B.このキャンペーンで知った

質問2 バイオマスプラスチックは何でできていますか?
A.トウモロコシ B.石油 C.石炭

質問3 バイオマスプラスチックはどのように環境に良いのでしょうか?
A.二酸化炭素を増やさない B.窒素を増やさない
C.水素を増やさない

質問4 ご家庭で出たリサイクルできるゴミ(牛乳パック・トレイ・アルミ缶・スチール缶・ビン・ペットボトル)はリサイクルBOX利用しますか?
A.利用する B.時々利用する C.利用しない(地域の回収に出している)
D.利用しない(分別しない)

性別 A.男 B.女

年齢 A.10歳未満 B.10代 C.20代 D.30代

職業 A.会社員 B.自営業 C.公務員 D.主婦
E.学生 F.フリーター G.その他

ユニーの環境への取り組みについてのご意見・ご感想等

ご協力ありがとうございました

○ ユーストア

キャンペーン協賛メーカー商品 525 円以上購入による懸賞応募

・ JTB旅行券 1万円分 50名

懸賞応募用紙



ユーストア誕生30周年記念 協賛雑貨品メーカー 共同企画

グリーン購入キャンペーン

JTB旅行券1万円分が
1月14日(日)~2月15日(日) 50名に当たる!

あなたもはじめませんか?グリーン購入。

グリーン購入とは、購入の必要量を十分に考え、できるだけ環境への負荷が少なく価格がサービスを優先的に選んで購入することです。

商品一人ひとりがグリーン購入者となり、多くの方にグリーン購入の輪が広がることで、環境保護や消費者へのサポートが実現し、商品を提供する企業に環境負荷の少ない商品開発を促すことにつながり、すなわち、商品ひとつひとつが環境保護の輪を広げることにつながります。

SDG 1 貧困をなくそう、SDG 2 飢餓をゼロに、SDG 3 健康と長寿を促そう、SDG 4 質の高い教育をみんなに、SDG 5 ジェンダー平等を実現しよう、SDG 6 水とトイレの健全さを保ちよう、SDG 7 安全で持続可能なエネルギーを、SDG 8 働きがいのある経済を実現しよう、SDG 9 産業と技術革新の基盤をつくろう、SDG 10 人や国を超えて公正で包摂的な成長を、SDG 11 住み続けられるまちづくりを、SDG 12 つぶやみ・責任消費、SDG 13 気候変動に具体的な対策を、SDG 14 海洋資源を豊かにしよう、SDG 15 陸の豊かさも守ろう

対象商品はユーストアにて取扱いの協賛メーカー8社の日用雑貨品全品です。写真は対象商品の一例です。

レシート印刷機

ユーストア
of Business Center

ユーストア 千種区青柳町5-6
〒464-0852 名古屋市中千種区青柳町5-6
TEL:0587-247272(AM10:00~PM5:00)土・日・祝は除く

レシート印刷機 1紙以上を1日1回印刷
525円(税込)以上が購入し、525円
は消費額を印して貼ってください。

協賛メーカー: 花王、ライオン、資生堂、カネガウ、中乳花研、ツムラ

郵便番号 464-0852

名古屋市中千種区青柳町5-6
ユーストア誕生30周年記念
日用雑貨品メーカー共同企画
「グリーン購入キャンペーン」係

〒--

お名前(ふりがな)
電話番号

アンケート

協賛メーカー: 花王、ライオン、資生堂、カネガウ、中乳花研、ツムラ

応募先: Y484-0852 名古屋市中千種区青柳町5-6
ユーストア誕生30周年記念 日用雑貨品メーカー 共同企画
「グリーン購入キャンペーン」係

応募方法: 郵正で抽選の上、当選者を決定し、発表は当選者の発表をもってかえさせていただきます。

お問い合わせ: ユーストア誕生30周年記念 日用雑貨品メーカー 共同企画
「グリーン購入キャンペーン」事務局
TEL:0587-247272(AM10:00~PM5:00)土・日・祝は除く

キャンペーン期間: 1月14日(日)~2月15日(日)

3 「地球にやさしい買い物探検隊」の実施状況

(1) 実施結果

- 実施日時
平成19年1月14日（日）10:15～15:30
- 実施場所
イオン千種ショッピングセンター
- 参加者数
21組（保護者21名、子ども23名）

(2) 実施内容

- 親子等の探検隊が数グループに分かれて店内を調査し、地球にやさしい商品・買い物方法・店舗の取り組み等を探しました。
- 見つけた地球にやさしい買い物方法等は、写真や説明をつけてエコマップを作成し、発表会を開催しました。
- 作成したエコマップは、1ヶ月間、実施店舗に掲示することにより来店者への啓発を行いました。

(3) 実施状況



店内調査の様子



エコマップ作成の様子



発表会の様子

4 懸賞応募企画の抽選の実施

(1) 実施結果

○ 抽選日時

平成19年3月19日(月) 15:30~17:30

○ 応募者数

6,841名

○ 当選者数

1,000円分図書カード100名 500円分図書カード900名

○ アンケート結果

本報告書15ページ以降

平成18年度東海三県一市グリーン購入キャンペーンアンケート集計結果参照

(2) 抽選の様子



5 広報結果

No.	媒体の種類	媒体の名称	掲載年月日・放送年月日時間など	広報自治体	
1	ラジオ	岐阜放送「県政の窓」	1月17日 9:30	岐阜県	
2	ラジオ	岐阜エフエム「GIFU インフォメーション」	1月15日 8:45		
3	広報紙	環境かわら版	2月5日	愛知県	
4	情報紙	あいち暮らしっく	1月19日		
5	メールマガジン	A i 県マガジン	1月12日		
6	ホームページ	環境かわら版	2月5日		
7	ホームページ	あいちの環境	1月11日		
8	電光ニュース	県政だより	1月21日～1月27日 ・豊田松坂屋壁面 ・北区交通安全協会ビル壁面 ・尾張一宮駅ビル屋上		
9	電光ニュース	愛知県からのお知らせ			
10	電光ニュース	愛知県だより			
11	ラジオ	FM 愛知「AICHI SATURDAY TOPICS」	1月13日 8:30～8:33		三重県
12	テレビ	メ〜テレ「くらしのミニ情報」	1月17日 19:54～20:00		
13	ホームページ	三重の環境と森林	1月11日	三重県	
14	ホームページ	三重県ホームページ	1月12日		
15	広報紙	広報なごや	1月号	名古屋市	
16	広報紙	なごやかりサイクル	1月発行No.3 1号		
17	ホームページ	名古屋市公式ウェブサイト	1月11日		
18	新聞	中日新聞市民欄「伸びる名古屋」	1月21日		
19	会報紙	女性なごや	1月号		
20	ラジオ	東海ラジオ「こんにちは名古屋です」	1月16日 13:45～13:48		
21	ケーブルテレビ	スカット「名古屋ニューアングル」	1月18日 17:09～17:19		
22	街頭ビジョン	休千種店・ナゴヤドーム前店大型映像	1月16日～31日		
23	街頭ビジョン	栄広報モニュメント	2月1日～2月14日		

6 新聞掲載状況

(1) 中日新聞 1月16日朝刊



親子で店内'探検'
環境を考えた商品を親子で探す「地球にやさしい買い物探検隊」が十四日、千種区のイオン千種ショッピングセンターで開かれた。小、中学生の児童、生徒と、その親計四十三人が六グループに分かれ、一時留半にわたって環境関を重視した商品を取り組みながら探検した。

牛乳売り場では「紙パックより瓶の方が環境にいいんだね」と親子で話し合ったり、

千種の大型SC
探検隊は「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」の一環として、初めて実施された。エコマップは二月十四日まで、店内に掲示される。

文房具売り場ではエコマップの付いたペンなど左手に取って他の製品と比べたり、探検した結果はエコマップと併せて、グループごとに横断紙二枚にまとめて発表し合った。

環境にやさしい製品を探す参加者一千種区のイオン千種ショッピングセンターで

エコ商品はどれ?

(2) 週刊循環経済新聞 1月29日

グリーン購入をアピール
岐阜・愛知・三重県と名古屋など
コンビニなど約200店参画

入を広く消費者へ普及・啓発することを目的に、日本チェーンストア協会中部支部などアソシエイト、参加店と協働し、参加販売店で環境配慮型商品をアピールする「東海3県グリーン購入キャンペーン」を開始した。広域圏で取り組みを進めることで、事業のアナウンス効果を高め、消費者の意識向上を喚起するのがねらい。

「詰め替え商品やエコマップ」の提供のほか、朝日日本環境協会「エコマップ」の提供、8月活動推進「フェア」の開催、朝日日本環境協会の関係団体が協賛し、域内のチェーンストアを巨額品、コンビニエンスストア、ドラッグストアなど、277ヶ店が参画し、特設「グリーン購入」のポスターや、グリーン購入の環境負荷低減効果を周知する。

詰め替え商品の購入や買い物の時の持参品はか、「環境フェア」商品「地産地消産品」や「商品」などにポイントや特設エコマップ商品を記載する環境つきアンケートを実施するなど、消費者の参加意欲を喚起した取り組みを打ち出している。

同キャンペーンは、2002年からスタートした。今年度は、05年度から本格的に運用が始まった。バイオマスマークを普及しようと、朝日日本環境協会が初めて参画。参加販売店の担当者は「幅広い層に訴えかけることで普及に弾みをつけた」としている。キャンペーンは、2月14日まで。

平成18年度東海三県一市グリーン購入キャンペーンアンケート集計結果

1 調査の目的

グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市の広域連携で、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施し、行政と事業者が協働して消費者に対する啓発を行った。この取り組みの一つとして、チェーンストア、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストアなどの参加店でエコマーク商品を購入した人を対象に、グリーン購入に関する意識等の把握を目的として実施した。

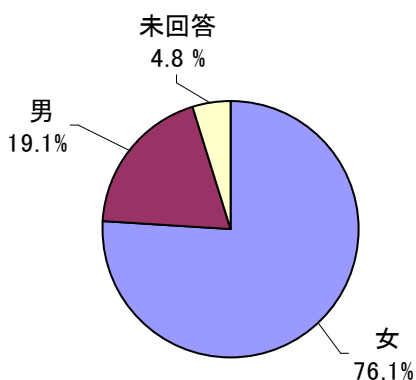
2 調査の概要

- (1) 調査期間 : 平成19年1月14日(日)～平成19年2月14日(水)
- (2) 調査対象 : キャンペーン参加店(2,777店)の来店者
- (3) 標本数 : 6,841サンプル
- (4) 調査の内容 : 店頭に設置した応募はがきによるアンケート調査

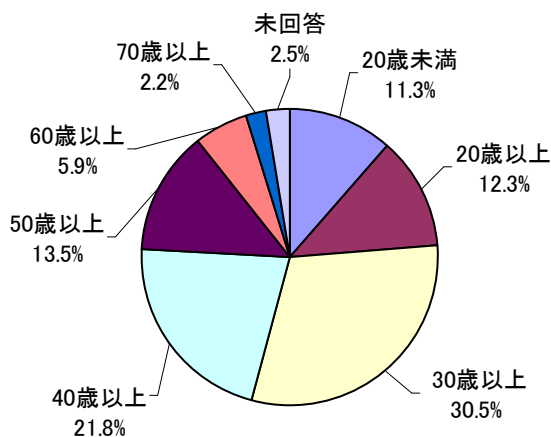
3 調査結果

(1) 回答者の属性

ア 性別



性別	人数(人)	割合(%)
女	5204	76.1
男	1310	19.1
未回答	327	4.8
合計	6841	100.0

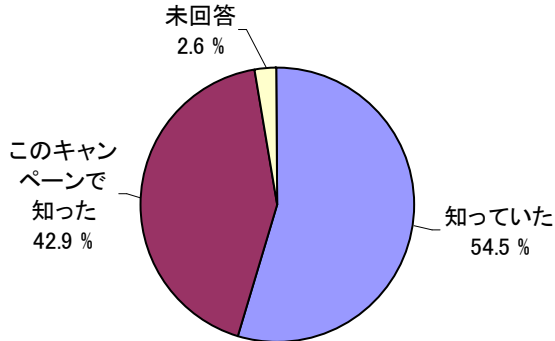


年齢	人数(人)	割合(%)
20歳未満	771	11.3
20代	843	12.3
30代	2084	30.5
40代	1492	21.8
50代	925	13.5
60代	406	5.9
70歳以上	148	2.2
未回答	172	2.5
合計	6841	100.0

(2) 調査結果

ア グリーン購入の認知度

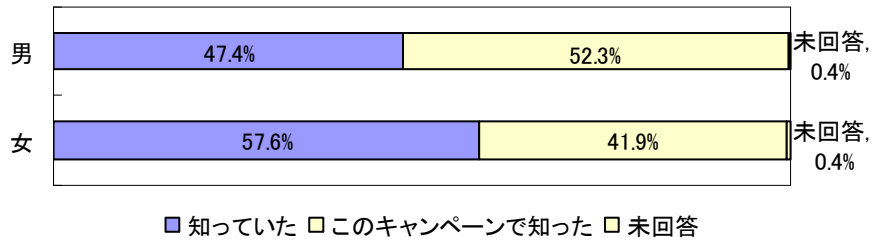
質問1 グリーン購入という言葉を知っていましたか。



	人数(人)	割合 (%)
知っていた	3725	54.5
このキャンペーンで知った	2937	42.9
未回答	179	2.6
合計	6841	100.0

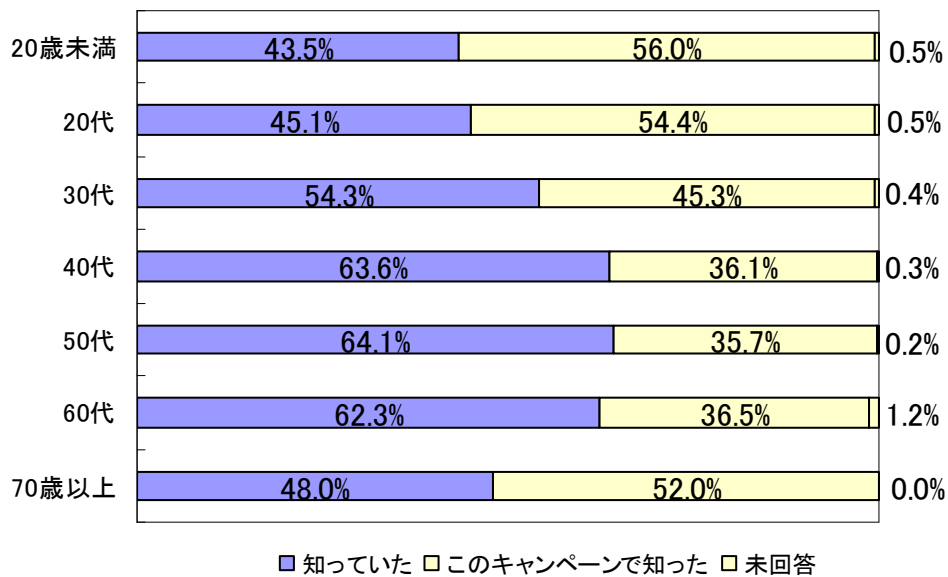
グリーン購入という言葉を知っていた人は、54.5%の人が「知っていた」と回答しており、昨年の調査結果と比べて「知っていた」割合が増加している。
(昨年 47.1%)

《性別ごとの認知度》



○グリーン購入の認知度は、男性が約5割、女性が約6割であり、女性の方が高かった。

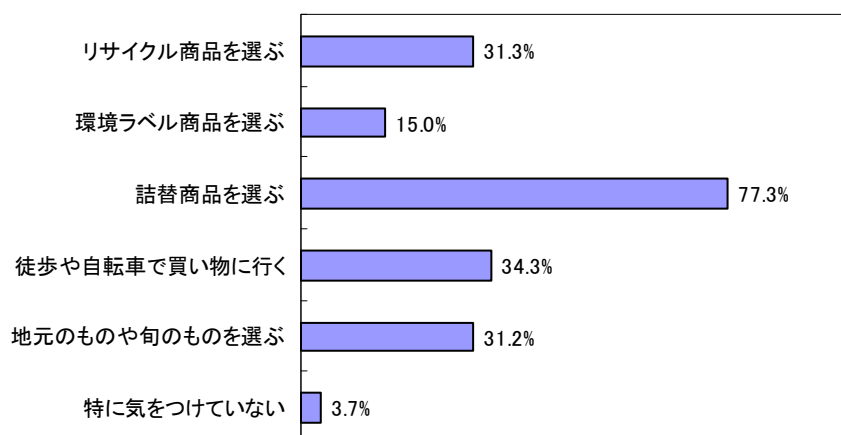
《年代別の認知度》



○若年層（30歳未満）と高齢層（70歳以上）のグリーン購入の認知度が低かった。

イ すでに取り組んでいるグリーン購入

質問2 買い物の時に気をつけていることは何ですか。(※複数回答可)

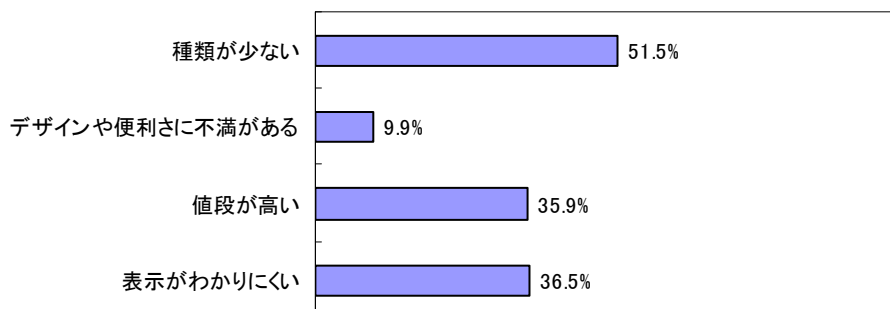


	回答数(件)	割合(%)
リサイクル商品を選ぶ	2144	31.3
環境ラベル商品を選ぶ	1029	15.0
詰替商品を選ぶ	5287	77.3
徒歩や自転車で買い物に行く	2348	34.3
地元のものや旬のものを選ぶ	2135	31.2
特に気をつけていない	252	3.7

- 昨年と同様「詰め替え商品を選ぶ」に気をつけている人が最も多く 77.3%を占めており、目立って多かった。(昨年 77.0%)
- 「リサイクル商品を選ぶ」、「徒歩や自転車で買い物に行く」、「地元のものや旬のものを選ぶ」に気をつけている人は3割強を占めたが、「環境ラベル商品を選ぶ」に気をつけている人は15.0%にとどまった。
- 買い物の時に特に気をつけていない人は3.7%のみである。

ウ 環境配慮商品に対するイメージ

質問3 環境にやさしい商品に対するイメージを教えてください。(※複数回答可)

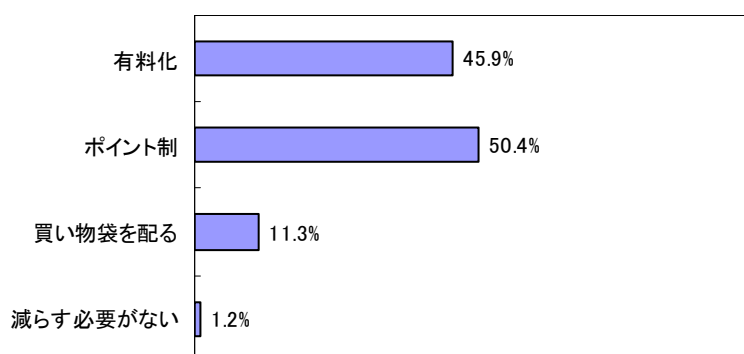


	回答数(件)	割合(%)
種類が少ない	3523	51.5
デザインや便利さに不満がある	675	9.9
値段が高い	2456	35.9
表示がわかりにくい	2494	36.5

- 環境にやさしい商品に対するイメージは、「種類が少ない」と感じている人が5割を占め、昨年の調査と比べて大きく増加している。(昨年25.4%)
- 「デザインや便利さに不満がある」と感じている日人は、1割にとどまった。

エ レジ袋削減の方策

質問4 省資源のためにレジ袋を減らすには何が有効だと思いますか。



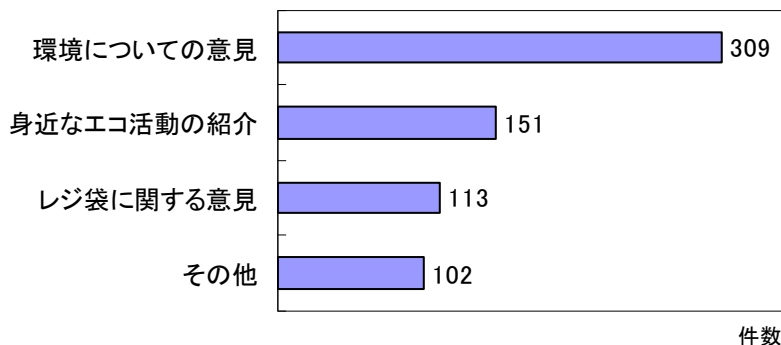
	回答数(件)	割合(%)
有料化	3143	45.9
ポイント制	3445	50.4
買い物袋を配る	776	11.3
減らす必要がない	84	1.2

※合計が100%を超えるのは、一部複数回答があったためである。

- レジ袋削減のためには、「有料化」や「ポイント制」などの正負のインセンティブの付与を有効だと考える人がそれぞれ5割を占めたが、やや「ポイント制」をあげる人が多かった。
- 「減らす必要がない」と考える人は、1.2%にとどまった。

(3) ご意見・グリーン購入を進めるためのアイデア等

《意見の分類》

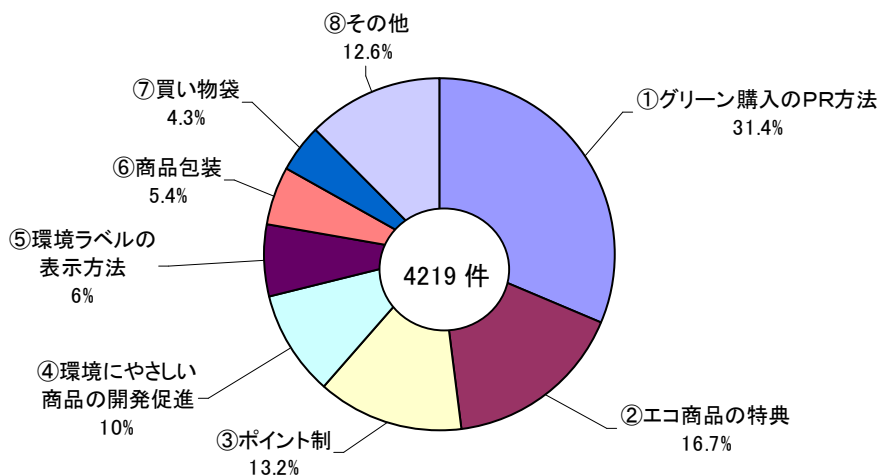


○環境問題に関して取り組みの決意表明や現在取り組んでいるエコ活動の紹介、レジ袋に関してマイバックや有料化に対する意見などが多く寄せられた。

●主な意見

環境についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の意識の向上が必要であると考える。 ○これからグリーン購入に取り組んでいきたい。 ○未来の環境を守りたい。 ○身近なところにエコ商品があることに気づいた。 ○これから環境についてより関心を払う、または、考えていこうと思う。
身近なエコ活動の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ○マイバックを持参している。 ○グリーン購入を行っている。
レジ袋に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○マイバックを持参すべき。レジ袋は減らすべき。 ○有料化には反対である。 ○レジ袋は家庭で再利用している。

《アイデアの分類》

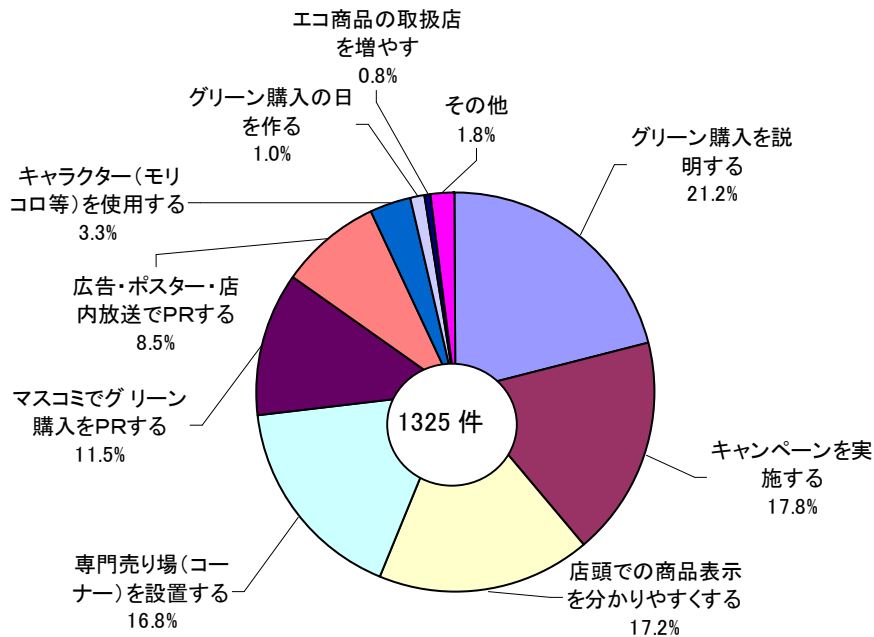


○伏いて、インセンティブに関わるものが多く、商品の特典に関して 100 件、ポイント制に関して 558 件のアイデアが寄せられた。

○また、包装の削減として商品包装に関して 226 件、買い物袋に関して 183 件のアイデアが寄せられた。

《分類ごとの内訳》

①

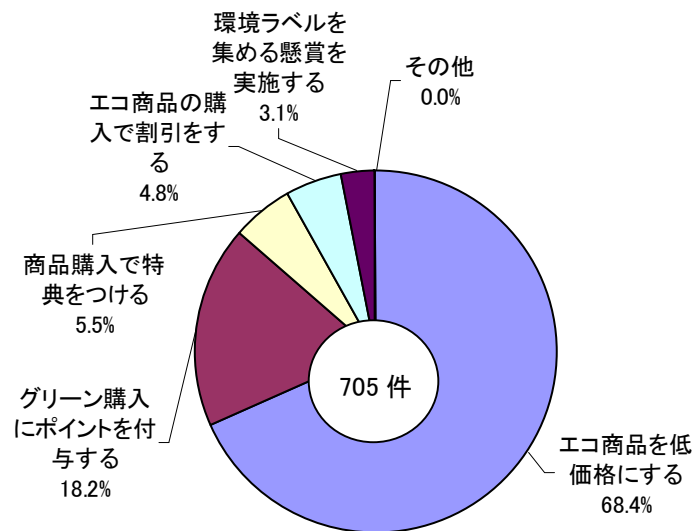


この中で、特に「グリーン購入を説明する」「キャンペーンを実施する」が多く寄せられた。具体的には、環境ラベルの十分な活用方法やキャンペーンの実施、店頭でのわかりやすい表示、広報の仕方などに関する提案があった。

●主なアイデア

グリーン購入を説明する	<ul style="list-style-type: none"> ○各環境ラベルの説明をきちんとする。 ○「グリーン購入」がお洒落といったムーブメントを起こす。 ○レジ袋にグリーン購入のPRを印刷して消費者に環境保全の意識をもってもらう。
キャンペーンを実施する	<ul style="list-style-type: none"> ○キャンペーンを年に何回か実施してグリーン購入に関心を持ってもらう。
店頭での商品表示を分かりやすくする	<ul style="list-style-type: none"> ○地元の野菜や旬の果物にはわかりやすくラベルやシールを貼って知らせる。 ○スーパー内で環境にやさしい商品を集めて展示して消費者にアピールする。
専門売り場(コーナー)を設置する	<ul style="list-style-type: none"> ○エコマーク商品を一箇所に集めて目立つ場所に設置する。 ○環境ラベルだけの商品を取り扱う店舗を作る。
マスコミでグリーン購入をPRする	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビや雑誌で特集を組む。 ○カタログ等一覧表を店内に配置する。 ○子どもが歌いたくなるような商業ソングを作って流す。
広告・ポスター・店内放送でPRする	<ul style="list-style-type: none"> ○店員による声かけによりアナウンスする。 ○新聞広告や折込チラシで大きくアピールする。 ○レジカゴを乗せる台車に環境ラベルの種類別シールを貼って注意を促す。
キャラクター(モリゾー・キッコロ等)を使用する	<ul style="list-style-type: none"> ○エコ商品のオリジナルキャラクターを作り、メーカーに関係なくエコ商品にはそのキャラクターをつける。 ○モリゾー・キッコロをキャンペーンに参加させる。
グリーン購入の日を作る	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーン購入の日を月一回設け、5%割引する。
エコ商品の取扱店を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ○コンビニ、ドラッグストアで取り扱うようにする。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○エコ商品のパッケージに家で簡単に出来る省エネ方法を載せる。

② エコ商品の特典

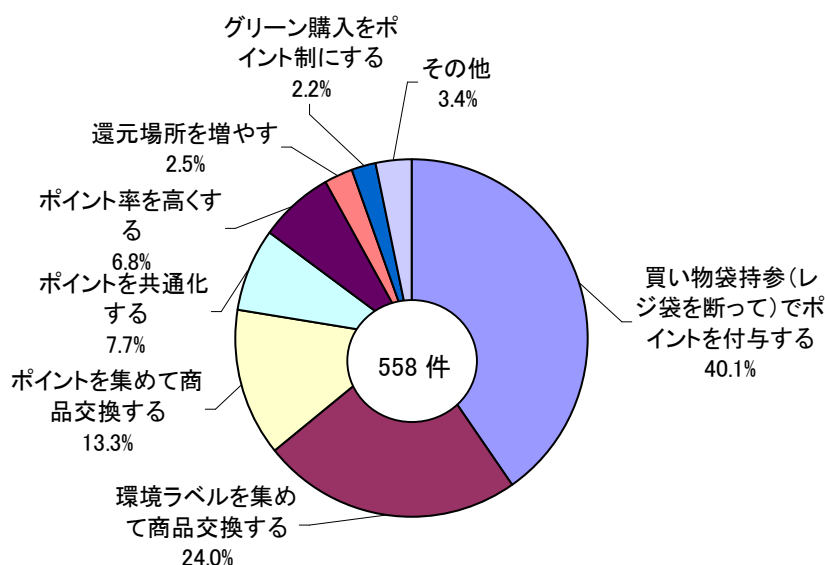


○エコ商品の購入を促すための方策として、低価格にするためのアイデアが最も多く寄せられた。

●主なアイデア

エコ商品を低価格にする	<ul style="list-style-type: none"> ○国が補助金を出して安くする。 ○試しに買いやすいようにお手ごろ価格にする。 ○詰替商品・リサイクル品の特売日をつくる。
商品購入で特典をつける	<ul style="list-style-type: none"> ○サービス品を添付する。 ○本体に詰替商品をおまけとしてつける。 ○エコ商品福袋を売り出す。
エコ商品の購入で割引をする	<ul style="list-style-type: none"> ○エコ商品の購入でスタンプを貯めて、点数に応じて現金割引する。 ○商品の購入で何パーセントかキャッシュバックする。
環境ラベルを集める懸賞を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ○環境ラベルやポイントを集めて応募する懸賞を行う。

③ ポイント制



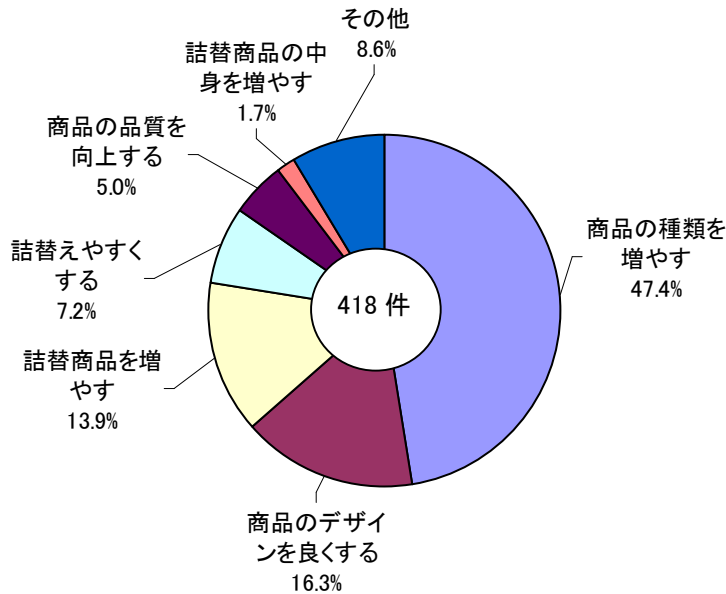
○現在も取り組まれているレジ袋を断ってポイントを付与する制度について、実施店舗の拡大やポイントカードの工夫、ポイントの共通化、還元率の向上、ポイント交換のシステムなどに関するアイデアが寄せられた。

○エコマネーセンターなどのポイントの還元場所に関するアイデアも寄せられた。

●主なアイデア

買い物袋持参(レジ袋を断って)でポイントを付与する	○コンビニエンスストアで買い物袋持参をポイントにする。 ○親子で取り組めるようにゲーム感覚の楽しいポイントカードなどにする。
環境ラベルを集めて商品交換する	○集めたポイント数に応じて商品交換やエコマネーに加算する。
ポイントを集めて商品交換する	○ポイントを貯めて商品券や図書券、エコ商品と交換や現金割引する。
ポイントを共通化する	○レジ袋なし、環境ラベル商品、詰替商品等を共通のポイントにする。 ○地域内店舗のポイントを共通のポイントにする。
ポイント率を高くする	○エコポイント2倍の日などを設ける。 ○ポイントが貯まったときの金券の金額を上げる。 ○購入金額に応じたポイント率とする。
ポイントの還元場所を増やす	○名古屋市以外にもポイント還元場所(エコマネーセンター)をつくる。 ○エコマネーセンターを増やす。
グリーン購入をポイント制にする	○テレホンカードのようなポイントカードを差込み、リサイクル商品を入れるとポイントが加算されるシステムをつくる。 ○価格のバーコード読み取り時に自動的にポイントが貯まるシステムをつくる。 ○商品にシリアルナンバーを付けて指定サイトに入力するとポイントが貯まるようにする。
その他	○公共交通機関を利用して買い物をしている人へもポイントをつける。 ○エコポイントを緑化活動に生かす。

④ 環境にやさしい商品の開発促進

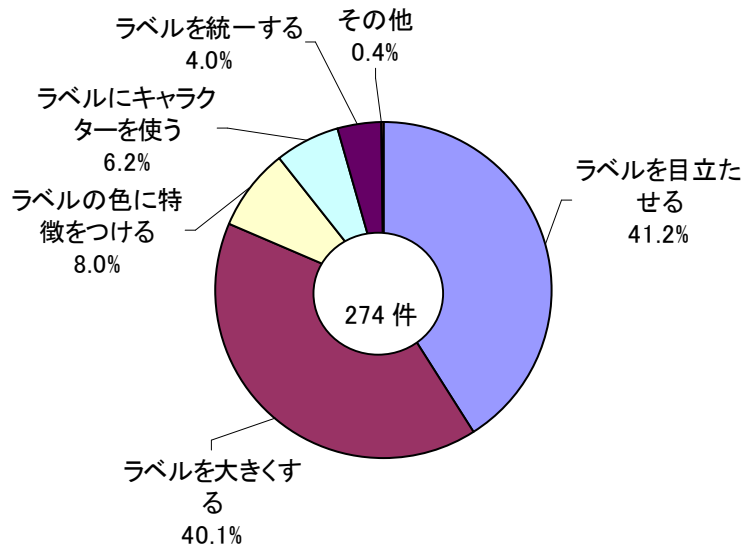


○環境にやさしい商品をもっと増やすためのアイデアが多く寄せられた。また、デザインの向上、詰替えやすさなど機能や品質に関するアイデアも多く寄せられた。

●主なアイデア

商品の種類を増やす	○詰替商品にエコマークを増やす。 ○グリーン購入マークの付いた商品と付いていない商品の割合を調査する。 ○電化製品などDVDディスクやMDディスク、テープなどもリサイクル品にする。
商品のデザインを良くする	○有名デザインの容器など、詰替商品の素敵な容器を販売する。 ○キャラクターをデザインしたパッケージにする。 ○事務用品の色のバリエーションを増やす。 ○パッケージが派手なのもっと簡素化する。
詰替商品を増やす	○シャンプー・化粧品などの詰替商品を増やす。 ○ティッシュペーパーをリサイクル品や詰替タイプにする。
詰替えやすくする	○詰替商品は詰替やすく改善する。
商品の品質を向上する	○リサイクルトイレットペーパーの品質は硬いので改良する。
詰替商品の中身を増やす	○詰替商品の内容量も本体と同じに増やす。
その他	○企業にグリーン商品を一定の割合で製造するように義務づける。 ○捨てる際、環境負荷が少ない商品を企業が工夫する。

⑤ 環境ラベルの表示方法

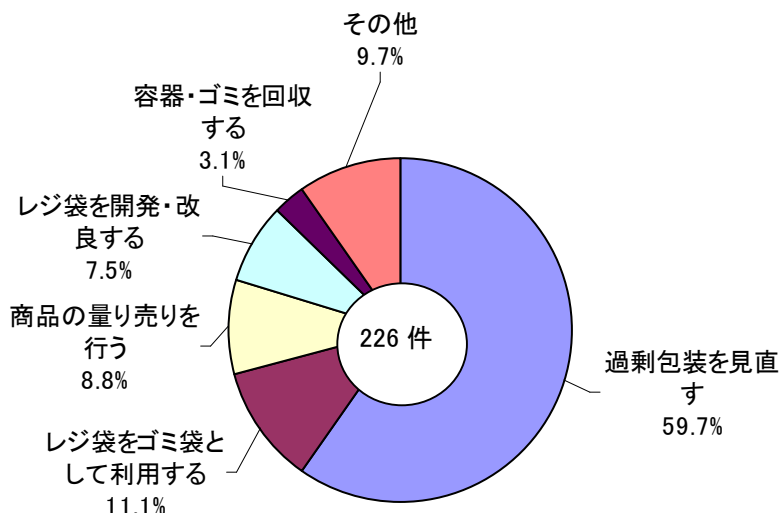


ラベルを目立たせる、大きくするのは、商品パッケージの目立つ場所に目立たせるためのアイデアが多く寄せられた。

●主なアイデア

目立たせる	○パッケージの取っ手や表面などの目立つ場所に表示する。
大きくする	○商品の表面に大きく記載する。
色に特徴をつける	○虹色の未来をイメージしてマークを虹色にする。 ○ラベルの周りを青色で囲む。 ○分かりやすくするために色を統一する。
キャラクターを使う	○環境ラベルの横にモリゾー・キッコロをつける。 ○もっと可愛いデザインにする。 ○オリジナルキャラクターを作る。
統一する	○環境ラベルの統一イメージを作る。
その他	○ラベルを切り取りやすくする。

⑥ 商品包装

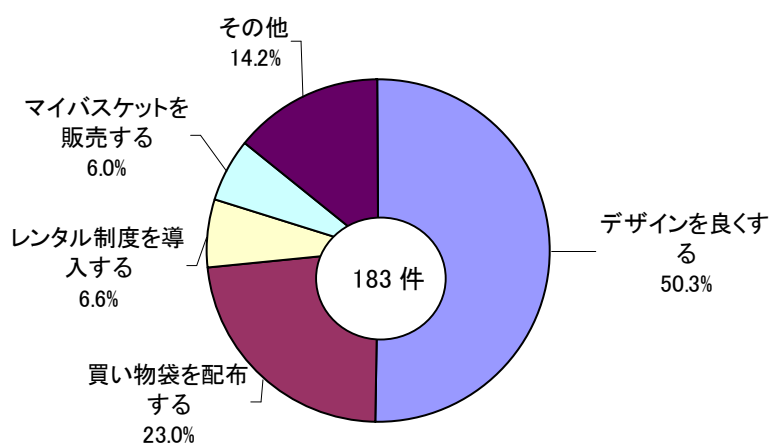


過剰包装の見直し、量り売りなどは、業界内から多くの意見が寄せられた。また、レジ袋の再利用や容器の回収方法に関するアイデアも多く寄せられた。

●主なアイデア

過剰包装を見直す	<ul style="list-style-type: none"> ○ギフト用商品の包装を簡素化する。 ○リサイクルステーションを持つスーパーマーケット、コンビニエンスストアを増やす。
レジ袋をゴミ袋として利用する	<ul style="list-style-type: none"> ○レジ袋をゴミ袋として活用できるようにする。
商品の量り売りを行う	<ul style="list-style-type: none"> ○空ボトルや水筒、容器の持参による量り売りを行う。 ○ペットボトル飲料の中身だけの自動販売機を設置する。
レジ袋を開発・改良する	<ul style="list-style-type: none"> ○レジ袋を統一して使いまわす。 ○レジで渡す袋を紙袋やもち手のないものにしてマイバックを持参させるようにする。 ○レジ袋の素材自体を地球にやさしいものにする。
容器・ゴミを回収する	<ul style="list-style-type: none"> ○容器など(ペットボトル、カン、ビン等)にデポジット制を取り入れる。 ○リサイクルボックスを増やす。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○食品はリサイクルできるパックで販売する。 ○詰替商品を販売する際に容器は別売りとする。

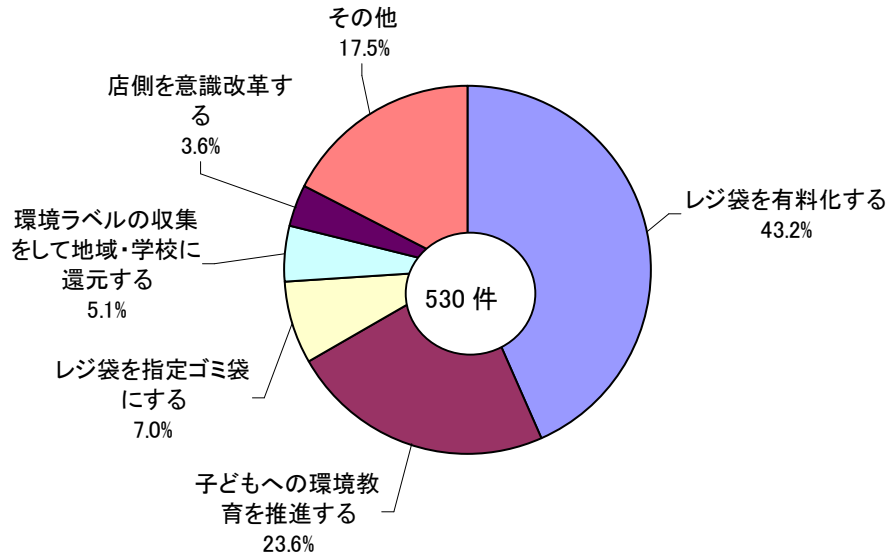
⑦ 買い物袋



○買い物袋のデザインに関するアイデアが最も多く寄せられた。また、買い物袋を持参してもらうためのシステムに関する提案もあった。

●主なアイデア

デザインを良くする	○レジカゴにそのままいれられる買い物袋にする。 ○キャラクター物、ブランド物などのお洒落な買い物袋にする。
買い物袋を配布する	○自治体が買い物袋を配布する。
レンタル制度を導入する	○買い物袋を貸してもらえるシステムを作る。
マイバスケットを販売する	○レジカゴタイプで折りたためるタイプのものにする。 ○買い物カゴを全スーパー共通にする。
その他	○持ち寄りで不要な買い物袋をレジ横に置いておき、利用して返却できるようにする。 ○買い物袋を目立つところに展示する。 ○折りたたんで持参できる買い物袋の作り方の講習会をする。



環境教育を

進めるための方策についてのアイデアも多く寄せられた。

●主なアイデア

レジ袋を有料化する	<ul style="list-style-type: none"> ○有料化をしてレジ袋が減ったらどんなメリットがあるのかを具体的に教える。 ○ポイント制は面倒なので有料化する。
子どもへの環境教育を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の授業で環境をテーマにした内容を行う際に、パンフレットを配布する。 ○学校へ環境出前講義をする。 ○小さな子どもにも絵本を配り、環境に優しい買い物の教育をする。
レジ袋を指定ゴミ袋にする	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の指定ゴミ袋に買い物をした商品を入れる。
環境ラベルの収集をして地域・学校に還元する	<ul style="list-style-type: none"> ○環境ラベルを集めて木を植えられるようにする。 ○学校でエコマークを集めて学校の備品に交換できるようにする。
店側を意識改革する	<ul style="list-style-type: none"> ○「シールでいいですか?」「マイバックはお持ちですか?」など店側から声をかけるようにレジ係の言葉や動作を見直す。 ○ETCレーンのようにマイバックの楽なレジシステムをつくる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通だけでなく自転車・徒歩の人にポイントを付与する。 ○地球環境を守るためのエコ商品、エコライフについて、広報で募集して、新聞で紹介したり、地域で展示イベントを開く。 ○飲食関係のカロリーのように、CO₂を減らす数字の表示をする。 ○24時間いつでもどこでもインターネットや携帯電話からグリーン購入できるような通販のサイトを作る。

地球にまる、だね。

グリーン購入

～環境にやさしいお買い物～

リサイクル商品



たとえば、トレイやペットボトルの再生文具を選ぶ

環境ラベル商品



たとえば、エコマーク商品など環境にやさしい商品を選ぶ

つめかえ商品



余分な容器の節約で省資源、省エネルギー

マイバッグ持参



レジ袋を断って省資源、省エネルギー

地元のもの、旬のもの



運輸、栽培、保存にかかるエネルギーを節約、しかもおいしい

お店までは徒歩や自転車



車の使用を減らして省エネルギー

●上記の計画は取組みの一例に過ぎません。

主な環境ラベルの種類

<p>エコマーク</p> <p>環境安全に立立つと認められた商品の目印。製造から廃棄、リサイクルといったあらゆるシーンを考えて環境への負担が少ない商品のみが認定されます。</p> <p>財団法人日本環境協会エコマーク事務局が認定</p> <p>例えばこんな商品に</p> <ul style="list-style-type: none"> ■文房具、鉛筆、ノート用紙類 ■日用品・トレットペーパー、洗剤商品、水切りネット、賞券類、食品類、タオル ■衣料品・作業着、Yシャツ、エプロン など 	<p>再生紙使用マーク</p> <p>R100</p> <p>頁の緑の数字は、古紙パルプの配合割合（%）を示します。3R（3R）紙製造フォーラムが運営</p> <p>例えばこんな商品に</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ティッシュペーパー、トイレットペーパー、ノート、用紙類、印刷物 など 	<p>バイオマスマーク</p> <p>生物由来の資源（バイオマス）を利活用し、品質及び安全性も良好な環境配慮の配合割合（%）の目印。</p> <p>バイオマス産商品の目印。 （社）日本有機資源協会が認定</p> <p>例えばこんな商品に</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食料、食品パック、シール、包装資材、事務用品、筆記用品、日用雑貨 など 	<p>グリーンマーク</p> <p>中核産業利用製品</p> <p>PETボトル再利用マーク</p> <p>牛乳パック再生マーク</p>
--	--	---	--

※R100は再生紙配合率100%、再生紙以外の紙は緑及び赤のマークを使用しています。 (財)日本有機資源協会 SOYMARK R100

アンケート

※必ずお名前を記入してください。

性別 A. 男 B. 女

年齢 A. 20歳未満 B. 20歳以上 C. 30歳以上 D. 40歳以上
E. 50歳以上 F. 60歳以上 G. 70歳以上

質問1 グリーン購入という言葉を知っていましたか。
A. 知っていた B. このキャンペーンで知った
※グリーン購入とは、環境への負担が少ないものやサービスを優先して購入することです。

質問2 買い物のときに茶をつけていることは何ですか。（※複数回答可）
A. リサイクル商品を選ぶ B. 環境ラベル商品を選ぶ
C. 結核商品を選ぶ D. 買い物袋を持参する
E. 徒歩や自転車で買い物に行く F. 地元のものや旬のものを選ぶ
G. 特に茶をつけていない

質問3 環境にやさしい商品に対するイメージを教えてください。（※複数回答可）
A. 種類が少ない B. デザインや便利さに不満がある
C. 値段が高い D. 表示がわかりにくい

質問4 省資源のためのレジ袋を減らすには何が有効だと思いますか。
A. 有料化 B. ポイント制
C. 買い物袋を配る D. 減らす必要がない

ご意見・グリーン購入を進めるためのアイデア等